

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する東京電力ホールディングス株式会社等との面談

2. 日時：令和5年6月2日（金）13：30～17：15

3. 場所：株式会社テプコシステムズ 11階会議室（オンライン参加者を含む）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 米林上席検査監視官、笠川室長補佐、  
平野主任監視指導官、沼田検査監視官

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 新添主任技術研究調査官、  
小城副主任技術研究調査官、関根副主任技術研究調査官、  
和田山技術研究調査官、川口技術研究調査官、  
武智技術参与

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部原子炉安全技術グループ 課長 他1名

株式会社テプコシステムズ

原子力エンジニアリング事業部原子力安全評価技術部 部長 他4名  
東北電力株式会社 原子力本部原子力部（原子力技術） 主査 他2名  
株式会社トインクス

開発運用本部システム開発1部システム開発推進課 主任 他2名

中部電力株式会社 原子力部 安全技術グループ 副長

株式会社中電シーティーアイ 原子力ソリューション部 PRAグループ  
専門課長

北陸電力株式会社 原子力本部原子力部原子力安全設計チーム 担当  
他1名

中国電力株式会社 電源事業本部（原子力安全） 副長 他2名

電源開発株式会社 原子力技術部炉心・安全室 担当

株式会社 J-POWER ビジネスサービス 火力・原子力部 解析グループ 担当

日本原子力発電株式会社 発電管理室 技術・安全グループ 課長

原電エンジニアリング株式会社 IT・解析部 PRAグループ 主任

東芝エネルギーシステムズ株式会社 原子力安全システム設計部 主務  
電力中央研究所 原子力リスク研究センター 上席研究員 他1名

## 5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）は、配布資料（1）に基づき、柏崎刈羽原子力発電所7号機のレベル1.5 PRAモデルに関する原子力規制庁からの質問に対する回答について説明を行った。また、東京電力は、レベル1.5 PRAモデルにおける格納容器ベントのフォールトツリー展開の考え方について説明を行った。

(2) 原子力規制庁は、東京電力が作成したレベル1.5 PRAモデルの適切性を確認していく上で、同社による詳細な説明を要するものについては引き続き面談で確認していくこととした。

## 6. 配布資料

(1) 事業者PRAモデル（柏崎刈羽原子力発電所7号機）の事前確認項目（原子力規制庁資料）